

# 児童が生き生きと活動したくなる授業の工夫

渋川市立豊秋小学校 河原 睦美 教諭  
藤岡市立美土里小学校 坂爪新太郎 教諭  
沼田市立沼田小学校 渡辺 真一 教諭  
担当指導主事 研究企画グループ 上原広行

## 文章の仕組みが分かる！

学 校：沼田市立沼田小学校 6年  
単 元：平和のとりでを築く  
テーマ：説明的文章を叙述に即して読み取らせるための指導の工夫  
～読みの視点を明確にした読み取りを通して～

## なるほど！がある交流

学 校：藤岡市立美土里小学校 3年  
単 元：すがたをかえる大豆  
テーマ：読み取りを深める指導の工夫  
～聞き合い伝え合う活動を通して～

## ‘ワクワク’ドキドキ’物語作り

学 校：渋川市立豊秋小学校 3年  
単 元：宝物をさがしに  
テーマ：児童が自信を持って書き出すことのできる指導の工夫  
～書き出す前の手立てを通して～

- 題名からのキーワードと教材文からのキーワードを意識させ、それぞれのキーワードを根拠に文のまとまりをとらえさせる。
  - 教材文全体が一目で分かるように教材文を一枚にすることで、キーワードの変化を視覚的にとらえさせる。
  - キーワードは緑色、主張は赤色で色分けさせ、文章全体の構成を大まかにつかませる。
  - キーワードを根拠にして意味段落の大まかなまとまりをつかませ、小見出しをつけさせる。
- ★キーワードを根拠に文のまとまりをつかませ、読み取りをさせたことにより、感覚で読み取っていた児童も叙述を意識した読み取りができた。



- 聞き合い伝え合う活動により、新たに気づいたり、考えを広げたりする活動を行い、児童が主体的に授業に取り組めるようにする。
  - 文章に傍線を引いたり、感想シートに自分の考えを書いたりすることで、自分なりの考えをしっかりとらせる。
  - 内容やキーワードをもとに大事な文（中心文）とそれを支える情報（理由や解説）に気づかせる。まzyugyou た、色を変えて傍線を引いたり困んだりすることで、視覚的にとらえさせる。
  - 個で読み取り、ペアで伝え合い、全体で発表することで、考えを広げたり深めたりさせる。
- ★児童が自分なりに考えをもって聞いたり伝えたりする、意欲的な姿勢が見られた。また、交流を通して他の考えと関連付けることができ、新たな気づき生まれ、読み取りを広げることができた。



- 宝島の地図をもとにした物語の設計図（構想図）を作ることで、島のどこで何をすることがよくわかり、物語の見通しを持たせることができた。
  - 地図から宝の隠し場所と宝物の部分を切り取っておいた。作文は友だちが書いた宝物カードをもとに書かせたので、カードを開くとき、本物の宝探しのようにワクワクドキドキする気持ちを味わわせることができた。
  - 想像の中で五感を働かせ、表現メモを作ることで、周囲の様子や登場人物の気持ちをくわしく書かせることができた。
  - 児童同士で感想やアドバイスを伝え合うことにより、読んでもらう嬉しさを味わうことができ、アドバイスも推敲の参考になった。
- ★書くことに苦手意識のある児童も、書き出す前の手立てを工夫するにより、想像をふくらませ、楽しみながら書き進めることができた。

